

第5期中なかいいネ！（素案）に対する区民意見募集の結果について

第5期中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！の策定にあたり、区民の皆さまに素案に対する意見を募集しました。

この度、結果の取りまとめといただいた意見等への対応の考え方をまとめました。多くの貴重なご意見やご提案等をいただき、ありがとうございました。

1 実施概要

(1)募集期間

令和7年 10 月 20 日(月)から同 11 月 21 日(金)まで

(2)素案・リーフレット配架・配布

ア 素案

中区役所(4か所)、中区福祉保健活動拠点なかふく、中内地域ケアプラザ(6館)への配架
区ホームページへの掲載

イ 概要版リーフレット

素案とともに配架のほか、区民利用施設や区内鉄道駅等の横浜市 PR ボックスでの配架(25か所)、
中区連合町内会長連絡協議会や中区民生委員児童委員連絡会、中区小中学校長会等の会議体で
の説明、周知依頼、区ホームページへの掲載

(3)広報

中区 SNS(LINE、X)、横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」でのお知らせ配信、
中区役所本館 1 階及び JR 関内駅のデジタルサイネージでの PR 動画の放映

(4)回答方法

電子申請、電子メール、FAX、意見用紙(回収箱設置)

その他、中区民祭りでのアンケート、日本語ボランティア団体への聞き取り、学生団体との意見交換会、
子どもたちへのワークショップ等

2 実施結果

(1)応募者総数

計 293 人

(2)提出意見の内訳

ア 提出方法

電子申請	電子メール	FAX	意見用紙	その他
33 人	0 人	1 人	185 人	74 人

イ 中区在住・在勤等の別

在住	在勤	在学	在住・在勤	未記入
127 人	67 人	64 人	18 人	17 人

ウ 年代別

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未記入
77人	16人	16人	23人	37人	39人	47人	28人	10人

(3)意見の分類

項目	件数
中なかいいネ！の取組に期待すること	148件
「計画の方向性」・「2つの柱」・「3つの視点」について	120件
中区を住みやすいまちにするために必要なこと	177件
その他	113件
意見総数	558件

3 いただいた主な意見と対応

(1)いただいた意見への対応分類

分類	対応	件数
A	意見を踏まえ、計画に反映するもの	21件
B	意見の趣旨が素案に含まれているもの又は、素案に賛同いただいたもの	277件
C	第5期計画を推進する中で取組の参考にさせていただくもの	179件
D	インフラや防災、教育、外国人等の個別の施策・課題に関すること	71件
E	その他	10件

(2)いただいた主な意見と対応の考え方

ア 中なかいいネ！の取組に期待すること

No	意見の要旨	分類	考え方
1	学生の意見が通りやすい地域を作ってほしい。	A	14ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
2	地域のイベントに参加するのは高齢の方ばかりで、関わったときにはすでに内容が決まっていることも多い。メンバーの関係性が良くないなどで、動きに制限がかかってしまっていることもある。地域活動したい若い世代は多いが、そのあたりに課題があると思う。	A	14ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
3	取組に期待しています。沢山のえん結びができるように努力してほしいです。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
4	意識を持った人が増えることが大事だと思いますのでこのような運動は大きな意味があると思います。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
5	多様性を尊重し、区民の全員が中区に住んでいる事を誇りに思えること。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
6	中なかいいネ＝元気なまちづくりと考えます。地区でも同じ考えで活動を進めています。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。

7	地域での支え合いが増え、安心して過ごせる街づくりが進むことを期待しています。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
8	若い世代にも、この計画をもっと知ってもらいたいです。	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。
9	興味関心のない人に、どのようにしてこの計画や地域の活動を知ってもらうか。 (同趣旨の意見を複数いただきました)	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。
10	様々な強みを持つ人財を見つけ出す方法を考えてほしい。	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。

イ 「計画の方向性」・「2つの柱」・「3つの視点」について

No	意見の要旨	分類	考え方
1	地区規模で取り組みそうなこともあるが、区が中心に取り組んだ方が良さそうなことがある。地区と区が互いの活動をそれぞれ意識して取り組んでいきたい。	A	10ページの導入部分の文章に、区計画の推進における区役所・区社協・地域ケアプラザの役割を記載しました。
2	内容はよいが、文化的なことや生活的なことしか入っていない。「元気いっぱい」は体を動かすことだけではない。医療や保健衛生についても入れるべき。	A	12ページに健康づくりについてのコラムを追加しました。また、同ページの視点3の活動例に保健・健康づくりについての記載を追加しました。
3	医療(保健)・健康についての記載が計画に少ない。	A	12ページに健康づくりについてのコラムを追加しました。また、同ページの視点3の活動例に保健・健康づくりについての記載を追加しました。
4	健康づくりに気軽に参加できるように、計画を作ってほしい。	A	12ページの視点3の活動例に健康づくりについての記載を追加しました。
5	素案の中に、この3年、5年での具体的な動きが見えなかった。計画の方向性や視点は、ずっと必要なことなので、5年間でこれをやろう！というのがあってもよいのでは？	A	第5期計画での取組について、10ページの導入部分の文章や10～12ページの視点1～3の活動例の文章の見直しを行いました。
6	難しすぎて、理解できず、自分からは遠いものに感じてしまいます。	A	中なかいいネ！を身近に感じられるよう、72ページに「はじめてみよう中なかいいネ！」を追加しました。
7	歴史の深い地域なので、そうした文化的背景に幼い頃から触れられるといいと思う。 (同趣旨の意見を複数いただきました)	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
8	普段、地域の人と関わることがあまりないので、関わりがつかれるようになったらとても楽しそうです。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
9	多様性を尊重でき、今後もさらにコミュニケーションがとれる地域になっていきそうで期待します。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
10	外国人が多い街なので、もっと外国人と日本人が交流したりお互いを理解できる場所があるといい。イベントだけではなく常時そんな場所があればと思う。	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。
11	精神障害1級2級の人にも入院費を補助してほしい。	D	関係機関・部署に共有させていただきます。

ウ 中区を住みやすいまちにするために必要なこと

No	意見の要旨	分類	考え方
1	小学生年代が放課後に思いきり走ったりボール遊びをするとところがあると安心です。	A	10 ページの視点1の活動例に、こどもが安心・安全に遊べる場の充実を追加しました。
2	保育園や幼稚園、小中学校で楽しく中区の歴史や良さにふれていくことで「私の町」を大切に！という気持ちが育まれるのではと思います。	A	12 ページの視点3の活動例に、こどもや若い世代が歴史や文化に触れる機会について追加しました。
3	子どもの頃から社会的問題にふれる機会が多くあるとよいと思います。	A	12 ページの視点3の活動例に、こどもや若い世代が歴史や文化に触れる機会について追加しました。
4	清掃活動を実施し、ゴミが溢れないまちづくりをする。	A	13 ページの地域活動で生まれるつながりに地域活動の例を追加しました。
5	若者がずっと住みたいと思えるように、若者の心の中にあるニーズを見つけて検討してもらいたい。	A	14 ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
6	若い世代にとっては、地域参加へのハードルが低いとよい。例えば、学校の単位になるとか、夏休みだけでもOKとか。気軽に参加できる選択肢があるとよい。	A	14 ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
7	大学生が活躍できる場が増えると嬉しいです。お手伝いではなく、企画作りなどに関わりたい。いつも同じ世代、同じような人たちが決めてまちを作っている印象があります。	A	14 ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
8	偶然の出会いを増やすこと。ゆるい場が増えること。地域が子どもや若者に近づくことができるといいと思う。	A	14 ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
9	大学時代に何か活動したいと思っていたので、入学してすぐ大学のボランティアセンターに相談して地域活動団体に参加しました。何かやりたくても活動自体を知らない学生も多いです。	A	14 ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
10	地元のコミュニティ的なつながり、住民同士のつながるきっかけ少ない。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
11	子どもの頃から障害や認知症についての理解を深められるといいと思います。	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。
12	外国や区外から来る人が多く、地元の人を楽しみにくいかなと思います。	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。
13	交通の利便がよくなる事。バスが少ない。 (同趣旨の意見を複数いただきました)	D	関係機関・部署に共有させていただきます。

エ その他

No	意見の要旨	分類	考え方
1	学校での取り組みがとても消極的に感じる。	A	12ページの視点3の活動例に、学校や関係団体との連携について追加しました。
2	子どもの居場所は今後さらに必要。大人が設定した場所(お祭りなど)に参加するのもよいが、子ども自身が主体となって交流できる場所が必要。子どもたちがどういうものを求めているのか、学校などと連携して声を聴けるとよい。	A	14ページに「子どもと一緒に考えるわたしたちのまち」のコラムを追加しました。 第5期計画の推進では、子どもの意見を聴く取組を継続して実施していきます。
3	地域の方から学生側に声をかけて下さると、学生として参加しやすいと感じます。学生側から地域に関わりたくても、自分が行って大丈夫なのかなと不安に思うことがあります。	A	14ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
4	学生ボランティアとして複数のプロジェクトに参加していますが、地域と学生が対等な関係で話すことができ、「学生が意思決定できる」ということが大事だと感じています。	A	14ページに「若い世代が参加しやすい環境をつくるために」のコラムを追加しました。
5	隣りに住んでいる人を知らない等の今、この取り組みが進み、この町に住んで良かったと思える様になると良いですね。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
6	住み良い町になったら良いと思います。	B	皆さまとともに、第5期計画の推進に努めていきます。
7	行政で色々な良い活動はしているけれど、熱心に関わりを持とうとしている人達以外には知られていないと思います。色々な人に知ってもらえるような行動を取ってほしいです。 (同趣旨の意見を複数いただきました)	C	第5期計画の推進の中で取組の参考にさせていただきます。
8	バスに障害者が乗る機能はあっても、都合のいい時間は満員で使いづらい。	D	関係機関・部署に共有させていただきます。
9	住んでいるところは、公園多くて子どもが遊ぶところがあって良い。保育料が安くなるといい。	D	関係機関・部署に共有させていただきます。

4 こどもや若い世代の意見を聴く

意見募集の実施に際し、こどもや若い世代の意見を聴く機会として、放課後キッズクラブや中学校での職業講話を活用したワークショップ、学生団体との意見交換会を実施しました。

(1)放課後キッズクラブでのワークショップ

3つのテーマを設定し、自分たちが住むまちやみんなが暮らすためにどうしたらいいかを考える中で、中なかいいネ！と共通する意見が多く聴かれました。〈こどもたちからの意見数:33件(再計)〉

【テーマ1 支え合い】

「たすけて！」の声に「気づくしくみ」

【テーマ2 健やか・交流】

「みんなであそんで」、「元気いっぱい」になる所

【テーマ3 安心・安全】

「あぶない」を「あんしん」にかえるマークや工夫



放課後キッズクラブでのワークショップの様子

(2)中学校での職業講話等を活用したワークショップ

中学校での職業講話や職業体験の場を活用し、ワークショップを実施しました。自分たちが住むまちの違和感の洗い出しや違和感を解消するためのアイデアを考えました。

〈こどもたちからの意見数:28件(再計)〉

(3)学生団体との意見交換会

地域活動に参加する学生団体に所属する学生、団体職員との意見交換会を実施しました。

若い世代が地域で活躍するには次のような「壁」があることが分かりました。また、計画に反映する意見、取組の参考となる意見を多くいただきました。

〈若い世代が地域活動に参加するうえでの壁〉

【入口が分からない】 地域活動の情報にたどり着けない。誰に聞けばいいのかわからない。

【始めるハードルが高い】 例えば「夏休みだけでOK」など、気軽な選択肢があるといい。

【意思決定に関われない】 若者はマンパワーに見られがち。企画段階から参加したいが、すでに決まっていることに呼ばれることが多い。



地域で活動する学生

〈学生からの意見数:18件(再計)〉